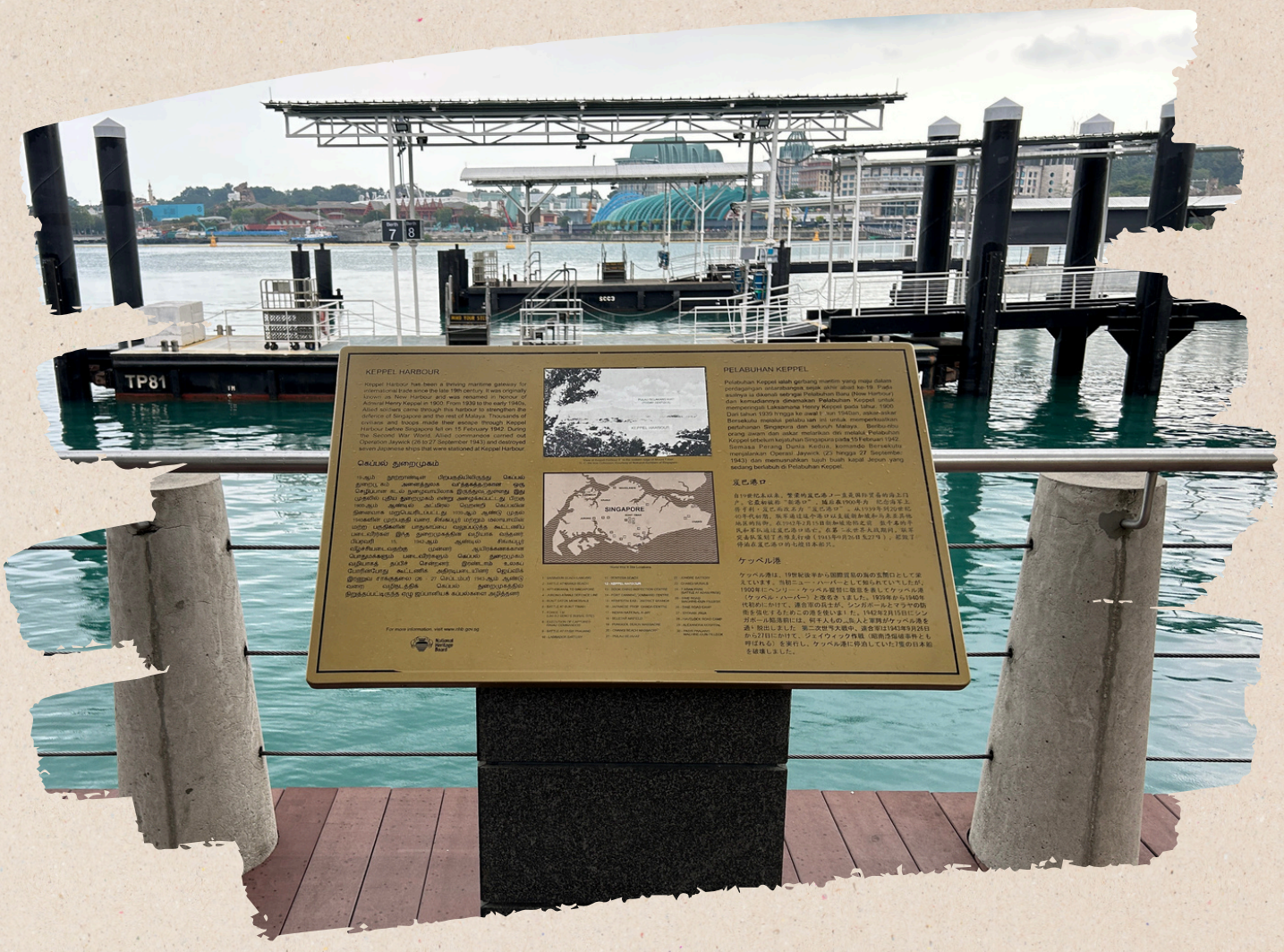
終戦80年

戦跡記念碑をたどる-7



ケッペル港＆リマウ作戦で捕らえられた特殊部隊員の処刑史跡

KEPPEL HAROUR&EXECUTION OF CAPTURED RIMAU COMMANDOS

2026年4月16日　史蹟史料部

戦跡記念碑 NO.12　ケッペル港 KEPPEL HAROUR

設置場所 : NUS University Town, Dover Road Entrance

第 7 回目は、ハーバーフロントの Vivocity に面したケッペル港と、シンガポール国立大学タウンにある戦跡記念碑をご紹介します。

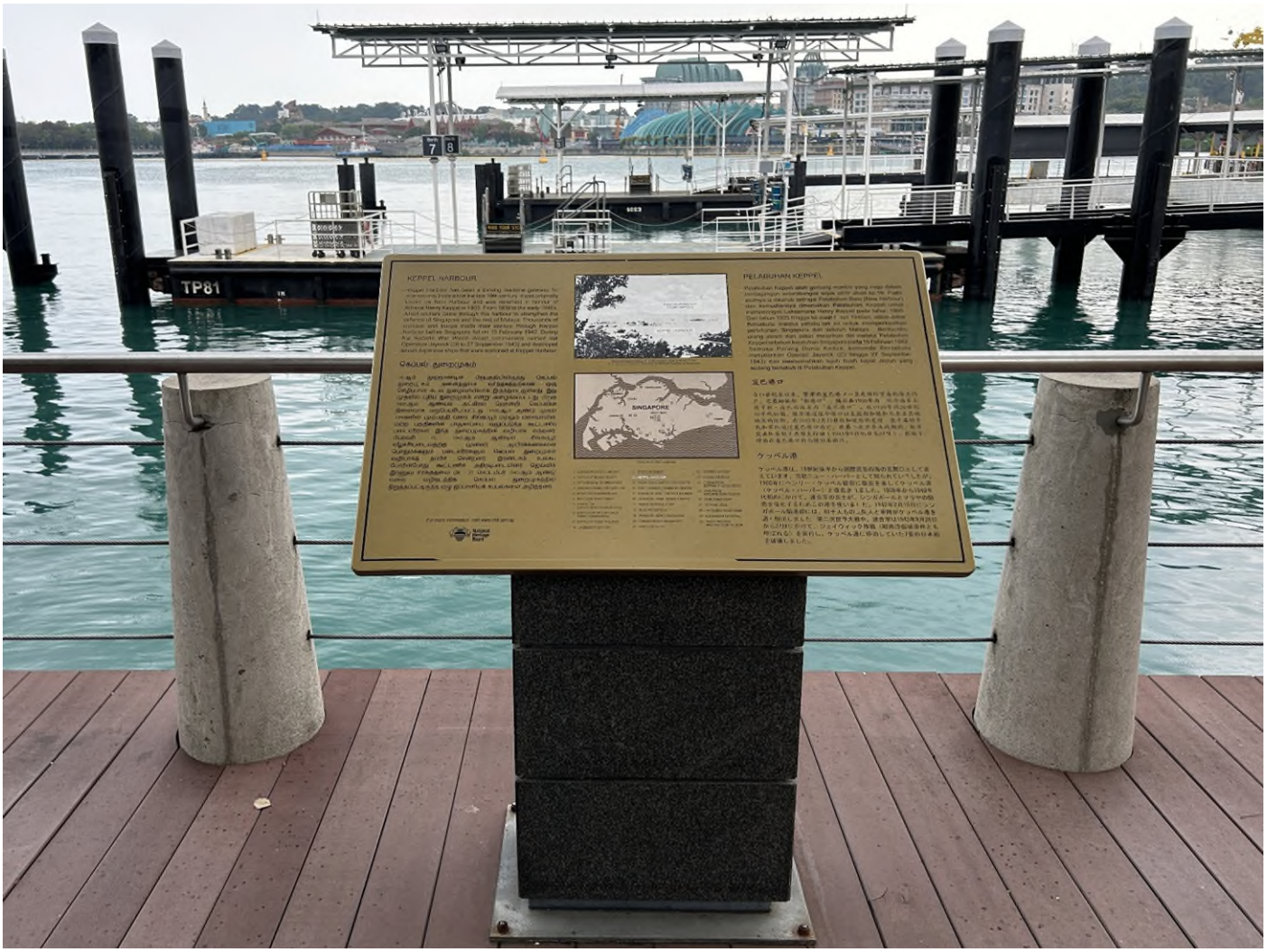
ケッペル港は 19 世紀後半から国際貿易の海上玄関口として栄えてきました。当初はニューハーバーとして知られていましたが、1900 年にヘンリー・ケッペル提督に敬意を表して改名されました。1939 年から 1940 年代初頭にかけて、イギリス連合軍兵士はシンガポールとマラヤの他の地域の防衛を強化するためにこの港を通過しました。

1942 年 2 月 15 日にシンガポールが陥落する前に、数千人の民間人と兵士がケッペル港から脱出しました。

1943 年 9 月 26 日から 27 日、連合軍の特殊部隊はジェイウィック作戦を実行しました。6 人の隊員が 3 隻の折りたたみカヌーでケッペル港に侵入し、7 隻の日本船にリンプット機雷を取り付け、2 隻を沈没させ、5 隻に損傷を与えました。発覚すれば必ず壊滅的な結果を招く状況の中、連合軍の船・Krait はカヌー隊員を目標までの距離に下ろし、作戦終了後、全員を安全に帰還させました。

連合軍の船 Krait（出典：National Archives）

ケッペル港の戦跡記念碑は、ハーバーフロント駅直結のモール Vivocity の裏手にあり、セントーサ島のリゾートワールドを見渡せる場所にあります。



ケッペル港の戦跡記念碑

戦跡記念碑 NO.8　リマウ作戦で捕らえられた特殊部隊員の処刑史跡
EXECUTION OF CAPTURED RIMAU COMMANDOS

設置場所 : NUS University Town, Dover Road Entrance

リマウ作戦（マレー語で「虎」）は、ケッペル港の日本艦船を標的とした連合軍による二度目の特殊部隊の奇襲攻撃で、第二次世界大戦中の 1944 年 9 月下旬から 10 月上旬にかけて行われました。最初の攻撃（1943 年 9 月 26 日から 27 日のジェイウィック作戦）とは異なり、リマウ作戦は特殊部隊が日本軍に発見されたため失敗に終わりました。

13 名が戦死、または裁判前に死亡しました。他の 10 名は捕虜となり、裁判にかけられ、ドーバー・クレメンティ・ロード付近で斬首されました。

ドーバーロードのシンガポール国立大学前に設置された戦跡記念碑

（出典：National Archives）

クランジ戦争記念碑

リマウ作戦で斬首された 10 名の隊員は、戦後に遺体が回収され、クランジ戦争墓地に埋葬されました。

戦時中の日本軍による斬首処刑は、1945 年 7 月 7 日に行われました。

処刑された隊員は全員、作戦に参加した 23 名のうち生存していた最後の 10 名です。

クランジ戦争墓地には、リマウ作戦の隊員のほか、第二次世界大戦でシンガポール周辺で命を落とした連合軍兵士たちも埋葬されています。

文責：史蹟史料部 両頭真衣